



だれが発明したの？

インスタントラーメンの生みの親

安藤百福 (1910-2007)

今や世界中で食べられているインスタントラーメンを発明したのは、日清食品の創業者・安藤百福だ。安藤百福は、ある寒い冬の日の夜、戦後の闇市で人々が行列を作って長時間じっと待っている姿を見かけた。その先にあったのは1軒のラーメン屋台。温かいラーメンを食べる人々の幸せそうな笑顔を見た経験が、のちに大発明を生み出すきっかけとなったんだ。



きっかけは戦後の闇市で見た屋台の行列。「家庭でいつでも手軽に食べられるラーメンがあればどんなに喜ばれるだろう」と考えた。



ラーメンでみんなを笑顔にしたかったんだね。

ゼロからのスタートだったんだね。



安藤百福は47歳のとき、頼まれて理事長になった信用組合が破たんし、財産を失ってしまった。そこで闇市のラーメン屋台の光景を思い出し、「家庭で、お湯さえあればすぐに食べられるラーメン」の開発にとりかかったんだ。

そのころラーメンは中華料理店や屋台で食べるものだったから、家でかんたんに食べられるインスタントラーメンの登場には、だれもおどろいたんだ。

安藤百福が生んだ

3つの大発明

世界の食文化を変えたインスタントラーメン。

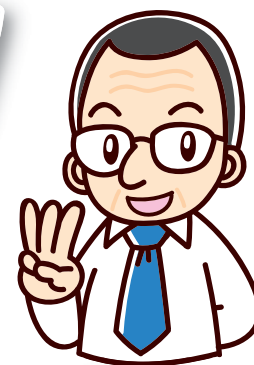
安藤百福は、生涯をかけて新しい「食」の創造に挑戦し続けたんだ。

第1の発明

世界初のインスタントラーメン

チキンラーメン

(1958年／安藤百福 48歳)



第2の発明

世界初のカップめん

カップヌードル

(1971年／安藤百福 61歳)



第3の発明

世界初の宇宙食ラーメン

スペース・ラム

(2005年／安藤百福 95歳)



どんな発明なの？ その1

天ぷらが
ヒントになった

第1の発明「チキンラーメン」

「家庭で、お湯さえあればすぐに食べられるラーメンがあつたら、どんなによこばれるだろう」と考えた安藤百福は、大阪府池田市の自宅の裏庭に建てた研究小屋で、1年間1日も休まずインスタントラーメンの開発に取り組んだ。しかし開発は苦難の連続。試行錯誤を繰り返し、1958年8月25日、ついに、世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」が発売されたんだ。

「アイデアのヒントは身のまわりに転がっている!!」

開発の中で一番苦労したのは、味付けしためんを長く保存するための乾燥方法。ある日、台所へ行くと奥さんが天ぷらを揚げていた。水で溶いた小麦粉の衣は油の中に入るとじゅつと音を立て水分をはじき出している。それをみた安藤百福は、めんを乾燥に天ぷらの原理を応用することをひらめいたんだ。

早速、めんを高温の油に入れてみると、めんの水が外にはじき出されほぼ完全に乾燥した状態になった。さらに水分が抜けた後のめんにはたくさんの小さな穴が開いていた。お湯をかけるとその穴にお湯がしみこみ、短時間でめんがやわらかくなる。こうして考えついた「瞬間油熱乾燥法」によって「チキンラーメン」が誕生したんだ。

天ぷらが
ヒント!



発売当時の
チキンラーメン

発売時の値段は35円(当時、生のうどん1玉が6円くらい)。お湯をかけるだけで食べられることから「魔法のラーメン」と呼ばれ、またたく間に大人気になったんだ。

安藤百福が定めた

インスタントラーメン開発5原則

安藤百福は「チキンラーメン」を開発するときに、5つの目標を立てた。これは、「開発5原則」として、今でも日清食品が商品を開発するときの基本的な考え方になっているんだ。

1

おいしくて飽きない

おいしいのはもちろん、
何度でも
「また食べたい」味に。

2

長い間保存できる

冷蔵庫に入れなくても
長い間保存できること。

3

かんたん・便利

いつでもだれでも
かんたんに作れて
手間がかからない
こと。

4

手頃な価格

商品の値段を
安くして買いやすく。

5

安全で衛生的

みんなが安心して
食べられるように、
安全で衛生的な
作り方で。

お湯を注ぐだけ
だからかんたん!

おいしくて
いいにおい!